



03

医療生協さいたま生活協同組合

埼玉協同病院



卒後臨床研修評価機構認定病院

研修プログラムの特色



当院の研修の特徴は2年間でその後の医師人生の土台となる一般診療能力を身につけられることです。内科を中心として救急、小児科、麻酔科、外科、産婦人科、精神科、地域医療、選択科をローテーション研修します。ローテート内容は自由度があり、3年目の専攻を見据えて選択科やローテート順などの希望に柔軟に対応します。研修を開始した最初の16週間は内科病棟で一貫した指導を受け入院してから退院するまでの基本的な診療を主体的に行うことで覚えます。2年間の研修でどの科を回っていても看護師、医療相談員、薬剤師、セラピストなどのメディカルスタッフとともにカンファレンスを行うことで患者さんに寄り添ったチーム医療を行う姿勢を身につけます。一般診療能力に必要な初期診療対応はどの科をローテート中でも救急当直に入ることによって学ぶことができます。地域医療研修は同法人の中小規模病院または診療所で行いますので、一貫した研修として地域包括ケアを学び実践できます。

埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム（募集定員8名）

プログラム例	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週
1年目	内科		内科		救急（麻酔科4週含む）		外科		産婦人科			
2年目	内科		地域医療		小児科		精神科		選択			

必修科目 内科（32週）、救急（救急12週：麻酔科での4週間の研修を加えて合計12週の研修とします）、地域医療（8週）、外科（8週）、小児科（8週）、産婦人科（4週）、精神科（4週）、一般外来（4週・並行研修）

選択科目（20週）内科、救急科、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科、麻酔科

研修医の処遇

給与 1年次：約35万円/月、2年次：約39万円/月、年2回賞与あり
手当 住宅手当、家族手当、当直・日直手当、年末年始勤務手当等
保険 協会けんぽ 厚生年金保険 雇用保険あり 労災保険 厚生年金基金等企業年金あり 医師賠償責任保険 病院において加入
勤務時間 平日8時30分～17時00分 土曜日8時30分～13時00分
当直 あり（3～4回/月）
休暇 有給休暇（1年次10日、2年次12日）、リフレッシュ休暇（4日）等
宿舎 なし（住宅手当【家賃の半額、上限5万円】）
その他 常勤採用、学会・研修会参加補助、院内保育所（病児保育）あり、健康診断2回/年、ワクチン接種

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 臨床研修協力病院**
 ・北辰病院 ・みさと協立病院
- 研修協力施設**
 ・熊谷生協病院 ・埼玉西協同病院
 ・秩父生協病院 ・浦和民主診療所
 ・大井協同診療所 ・川口診療所
 ・さいわい診療所

医師数（研修医除く） 58名（うち指導医数45名）
 病床数 399床
 研修医数 1年目8名 2年目8名
 昨年度マッチング受験者数 48名
 研修医の主な出身大学 愛媛大学、金沢医科大学、群馬大学、産業医科大学、筑波大学、東京女子医科大学、東北大学、獨協医科大学、長崎大学、福岡大学、杏林大学（五十音順）

診療科 内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、緩和ケア内科、神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科、リウマチ科、臨床検査科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、救急科、泌尿器科（人工透析）、緩和ケア外科

1日平均外来患者数 669名

1日平均入院患者数 260名

主な認定施設 埼玉県がん診療指定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本内科学会認定制度教育関連病院、日本消化器病学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設



当院の魅力

Kyoudo PRIDE

当院は1978年の開院以来、地域医療を支える医師を育成してきました。内科病棟で受け持つ症例はバラエティに富んでおり、特に高齢の方は複数の慢性疾患を抱えながら急性期疾患で入院するケースが多いので急性期疾患にだけ着目するのではなく総合的に診療することが必要になります。当院は総合医局になっているので診療の相談をどの科の医師にも相談しやすく、指導体制としても屋根瓦方式をとっており、3～6年目の医師が研修医の相談にも乗ってくれます。手技は始め指導医の下で行い、指導医が認めれば自主的にこなすので十分な経験を積むことができます。医療知識や技術を磨くために病気を診るだけでなく、その病気を抱えた患者さんを生活背景（経済状況・住居・家族関係等）や労働環境（労働による疾病への影響）からも理解し診療を行うことで医師として患者さんに寄り添う姿勢を学んでいきます。

当院の研修を通して知識・技術・姿勢といった医師としての重要な土台を築くことで、その後どのような場所で働くことになっても埼玉協同病院で研修を行ったというKyoudo PRIDEをもって働き続けることのできる医師を養成します。



研修責任者から



研修管理委員長
 病院長
増田 剛

医師人生にとって初めの2年間でどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得は勿論ですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は1978年の開院以来、「地域で役に立つ医師は地域でこそ育つ」その考えを実践し、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から

研修医2年目 **天笠 諒**

当院は患者や地域のニーズから出発することを大切にしていると肌で感じます。そしてチームとしてみんなで解決策を模索しており、その中で医師として何ができるのか、何をすべきなのかを考えさせられる日々を送っています。医学的な学びは勿論、患者の人権や地域のニーズ、そこから見えてくる社会の問題まで視野を拡げることなど1人の医師として多くのことを求められますが、優しく親切で熱意を持ったスタッフが多く、楽しくやりがいを持って働けると感じます。ぜひ一緒に困難を解決しましょう！



研修医1年目 **新井 朋代**

当院の初期研修は、総合内科病棟から始まります。何もわからない状態からのスタートですが、指導医の先生を始め、スタッフの皆様が優しく熱心に指導して下さい、安心して研修が行えます。研修医として医学的な管理を学ぶことはもちろんですが、患者様はそれぞれ多様な背景を抱えられています。お一人お一人の問題を解決するために、医師として何ができるか考えさせられる毎日です。患者様の抱える問題の解決策を模索する、多職種によるチーム医療に自身も参加することで、より広い視野での診療が行えるようになるのではないかと思います。



女性医師支援コーナー



当院では『誰もが安心して働ける職場』を目指して様々なライフイベントに合わせた働き方を応援しています。出産・育児へのサポートとして院内保育所を併設しており、病児保育にも対応しています。保育所を利用しつつ、短時間勤務制度や当直免除制度を使い育児と仕事を両立させながら自分のライフプラン・キャリアプランを考えることができます。当院常勤医師の約30%は女性医師で出産・育児をしながら活躍しています。（写真は院内保育所）



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学はホームページの見学申し込みフォームより見学希望日の1週間前までにお申し込みください。
- ・大学授業などの関係上見学ができない場合はオンラインでの研修説明も可能です。

連絡先	埼玉協同病院 教育研修センター 千葉翔太
住所	〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂1317
T E L	048-296-5822（直通）
F A X	048-296-8247
E-mail	skymet@mcp-saitama.or.jp
U R L	https://www.skymet.jp
アクセス	JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分

